

令和3年度 高志中学校1年 福井市郷土歴史博物館・養浩館庭園研修

- 1 期 日 10月14日(木)
- 2 目 的 福井市郷土歴史博物館・養浩館庭園を訪問し研修することで、「ふるさと福井」に今まで以上の興味・関心を持ち、「福井の資源(たから)」をテーマとした1年生後期の探究活動の内容を深める。
- 3 場 所 福井市郷土歴史博物館・養浩館庭園
- 4 参加生徒 87名

5 報 告

◆福井市郷土歴史博物館

福井市郷土歴史博物館では、常設展、特別展を見学しました。常設展では、職員の方から、展示されている史料について、重さ2トン以上もある石を山から切り出して運んで造られた古墳時代の石棺や、洪水時の被害を防ぐ半木半石の九十九橋などの説明を受け、郷土の歴史について学びました。

特別展「帰ってきた平家物語絵巻」では、かつて越前松平家が所蔵していた『平家物語絵巻』が展示されていました。平家物語絵巻は、源平合戦の各場面を絵と詞書(文章)で説明しており、それぞれの場面の絵と文章を読みながら、当時の戦いの様子や人々の生き様について考えました。

[生徒の感想]

足羽山から出土した石棺について興味を持ちました。どのようにして2トン以上もある石を運び、それを削ったのかと疑問を持ったので、これから調べていきたいです。

平家物語の絵巻物は自分が思っていた以上に大きく、屋島合戦図屏風は本当に人が描いたものなのかというくらい細かく描かれていました。

◆養浩館庭園

越前松平家の別邸兼庭園であった養浩館では、職員の方から、実際の屋敷の中で床の間や違い棚などの書院造の特徴や月の見える位置を計算して設計された御月見ノ間などについての説明を受けました。屋敷や庭園を見学しながら、当時の人々の生活に思いをはせていました。

[生徒の感想]

養浩館庭園の屋敷には、部屋によって庭園の見え方が変わるように造られていたり、お月見をするために工夫された部屋があったり、たくさんの工夫があることを知り、すごいと思いました。

最近の生活は「洋」なものが増えてきましたが、今回の研修を通じて受け継がれてきた「和」の美しさや日本人の考え方、無常観について知ることができました。

